



魅力ある学校・選ばれる学校へ 栗山で学び、栗山で輝く 栗山高校の魅力づくり



令和2年度第1回魅力づくり委員会(令和2年8月24日)

人栗山青年会議所(山本克幸理)

◆来年度の募集間口は2間口維持
北海道教育委員会は9月7日、
令和3年度から2年間の公立高等
学校配置計画を決定・公表し、今
春の入試で1学級相当以上の欠員
のため学級減となつた長沼高校や
砂川高校など9校は、中学校卒業
者の増加を見込み各1学級の復
活、空知管内では既に夕張高校へ
導入済みの「地域連携特例校」に
月形高校の移行などが盛り込まれ
ました。

栗山高校の令和3年度募集間口は、引き続き2間口維持の決定内容でしたが、今後も生徒数が減少傾向にある中、道教委による定員調整が進められる可能性もあり、生徒確保対策や魅力ある学校づくりの実現に向けて危機感をもつて取り組む必要があります。

現在、魅力づくり委員会では、「地域にとってどのような人財を育んでほしいか」、また「栗山高校がこうあってほしい」という町民の願いに関する議論が進められていますが、今後具体化を図り、今年度中を目途に一定の方向性をまとめ、町長への報告が行われる予定です。

◆女子硬式野球部設立(案)の提言
本年2月、町民有志による組織
「南そらち青年経済人研究会(塩
見望代表理事)」と「一般社団法
人栗山青年会議所(山本克幸理)

事長」より北海道ボールパーク誕生に向けた取り組みに関する提言書が佐々木学町長へ提出されました。

主な提言内容は、2023年に北広島市に開業予定のボールパークに関連した新たなまちづくり構想として大きく3つの具体的な手法が示されています。

7月に入り、佐々木町長より提言への回答がされ、このうち、栗山高校女子硬式野球部設立(案)は、定員割れが続く栗山高校の生徒確保はもとより、移住・定住促進など、あらゆる可能性を秘めた手法であると同時に、北広島市が推進する「ボールパーク構想」での新たな産業集積・起業促進、スポーツ関連産業の拡大、特色ある教育環境の充実など、持続可能なまちづくりの実現に繋がるものと考えており、栗山高校の魅力力を図る一つの手法として検討を進め実現に向けては、指導者確保をはじめ、施設や衣食住環境整備と費用面の確保など、さまざまな課題がありますが、まちづくりの観点からもボールパーク関連事業とともに調査・研究を進めています。

◆栗山高等学校と北海道介護福祉学校の関係
専任教員 田中裕子

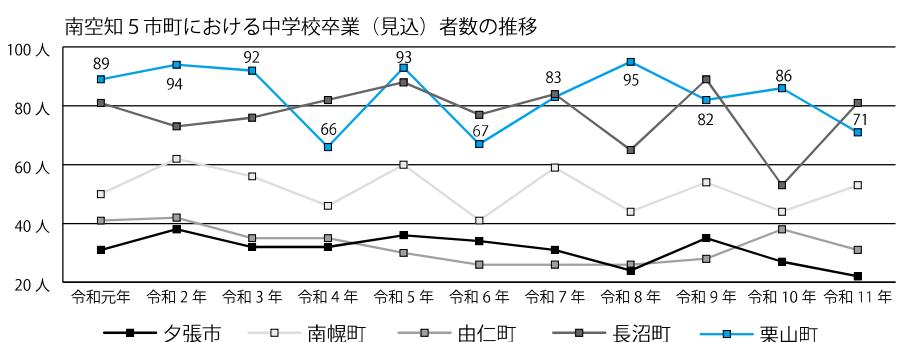
「すごい」、「なるほど…」とプロフェッショナルの介護技術に栗高生の驚嘆が連続する、栗山高等学校との連携による「生活と福祉」の授業。平成26年に北海道介護福祉学校と栗山高等学校が協定を結んで以来、毎年10人前後の栗高生が年に3回ほど「栗高バージョン」の授業を介護福祉学校で受

◆まちで育むキャリア教育
栗山高校では地域や町内企業との連携のもと、総合探求の時間や就業体験学習(インターネットシップ)など、地域に根差したキャリア教育が実践されています。(18ページ「まちの話題」で就業体験学習の記事を掲載しています)

また、3年生の選択科目「生活と福祉」では、平成26年度に北海道介護福祉学校との間に締結した連携協定による介護実習体験授業が実施されています。(18ページ「まちの話題」で就業体験学習の記事を掲載しています)



けています。この授業がきっかけとなり本校に進学し、介護福祉士として地域で活躍している方も多数います。介護は私たちの生活に身近であるがゆえに、当たり前のことになつていているのかもしれない。しかし、これから社会の変化を見据えた時、「栗高で体験したこと、介護学校で学んだことが次世代を担う若者たちに伝われば」と、私たちの「知識と技術と熱い想い」を彼らに注いでいます。



市町村名	(単位:人)										
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
夕張市	31	38	32	32	36	34	31	24	35	27	22
南幌町	50	62	56	46	60	41	59	44	54	44	53
由仁町	41	42	35	35	30	26	26	28	28	38	31
長沼町	81	73	76	82	88	77	84	65	89	53	81
栗山町	89	94	92	66	93	67	83	95	82	86	71
空知南学区	1,195	1,135	1,125	1,090	1,107	1,001	1,056	1,037	1,024	941	965
対前年比	▲85	▲60	▲10	▲35	17	▲106	55	▲19	▲13	▲83	24
北海道内	44,255	42,496	41,004	41,859	41,200	41,056	40,179	40,128	39,448		
対前年比	▲734	▲1,759	▲1,492	855	▲659	▲144	▲877	▲51	▲680		

◆栗山高校を支援する各種取組
今後も募集定員調整や再編整備が進む公立高配置計画の動向、さらなる少子化の進行、学校選択の多様化など、栗山高校を取り巻く環境は依然として厳しい状況に変わりはありません。
まちの将来の担い手を育成する上で欠くことのできない栗山高校の存続は、町政の重要課題の一つに位置付けし、高校と連携して各種取組を展開しています。
今春以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、会議等開催を見合わせていましたが、7月以降、栗山高校の間口確保を図るための陳情要請や高校教育のあり方の検討協議を行ふことを目的に町内各層により構成される「北海道栗山高等学校を支える会」の総会で栗山高校の将来的なあり方や魅力ある学校づくり等の調査および検討を目的とした「北海道栗山高等学校の魅力づくり委員会」の総会が開催し活発に議論され栗山高校に在学している生徒の資質向上などを目的とした支援に関する事を検討する「北海道栗山高等学校支援検討委員会」をそれぞれ開催し活発に議論され

介護実習授業を受けた栗山高校3年の山中愛梨さんは感想をこのように話していました。

「ベッドメーキングでは、最初は簡単そうに見えましたが、いざやってみると、シーツを折り込むところが難しく、苦戦してしまいました。完成した時、先生にきれいといっていただけなので、とても嬉しかったです。この仕事をしている人は、一日に何十回もこの作業をしていると聞いてすごいなと思いました。車いすの授業ではただ押して移動させるだけではなく、利用者様への負担や心遣いを考えるところや、車いすを傾けるところがとても大変でした。今回の実習を通して自分にとっていい体験になりました」



議 案

▼令和2年度栗山町一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算に、3億3,435万9千円を追加し、総額を10億2,577万8千円とするもので、主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策費の追加などに係る補正です。

▼令和2年度栗山町一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算に、2163万2千円を追加し、総額を10・8億4,741万円とするもので、主な内容は、福祉避難所整備等支援事業の追加などに係る補正です。

▼令和2年度栗山町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算に、3353万2千円を追加し、総額を15億2千円を

栗山学び隊 栗高野球部の活動

錦古里 大樹さん（栗山中卒業）



介護福祉学校と栗山高校ライフをお届けします

本校野球部は、3年生4人、2年生2人、1年生2人の8人で活動しており、大会に出場する際には、助つ人の協力を得て栗山高校として単独での出場を続けています。

日頃の練習は、キャプテンを中心、今自分たちに何が足りていないか、試合で勝つためにどんな練習が必要なのか、自分たちが頑張りきれる練習の量はどのくらいなのか等、チームの分析も含め部員同士で話し合い、自分たちで考えてメニュー作りをしています。今年は、コロナウイルス感染症の影響で、春季大会、選手権大会

栗山学び隊 Vol.4

5

学校祭で感じた協力と連携

北海道介護福祉学校 2年 遠藤 楓さん（美唄尚栄高卒業）



が中止となってしまいました。しかし、全道大会に繋がる3年生にとって最後の大会（独自大会）が開催されることになり、本当に嬉しかったです。練習試合は、少ししかできませんでしたが、一つひとつの試合を大事にし、大会へ向けての調整をしました。

結果は、連合チームに8対7で勝ち1回戦を突破し、2回戦は、滝川西高校に3対10で負けてしましましたが、チームが一つになり、自分たちが取り組んできたことが出せたと思います。悔しい気持ちがないわけではありませんが、最後まで諦めないで戦うことができました。これまで、続けてきたことと、取り組んできたことが報われたと思う瞬間でした。人が見ていなくても、自分のためチームのために取り組む努力をするとの大切さを学べたと思います。

野球部の良いところは、オンラインがはつきりとしていて、楽しい時間は楽しく、やる時は、きちんとやるという野球部です。野球部に入部して考えることが増え、考える力がついたと思います。チームが勝てるようになってからも、一人ひとりが成長できるよう、皆の力は、社会人になってからも活きることばかりだと思います。チームが勝てるようになってからも、一人ひとりが成長できるよう、皆で頑張れる部活だと思います。

今年の学校祭は日程が縮小となりましたが、無事に終えることができました。当日はオープニングキーノバスも同時に開催され、卒業生の協力もありました。介護福祉士を目指す高校生や家族の方に、学校の紹介や介護の魅力はもちろんのこと、栗山で介護を学び仕事に就き感じている介護のやりがいや社会人としての現在の状況を伝え、もらうなど、介護の仕事を身近に感じてもらうことができたと思います。

私も学生一人ひとり役割を持ち協力しながら準備する様子や卒業生の活躍の姿を見て、あらためてさまざまな形での協力と連携が大切だと感じました。これから始まる実習でも、お世話になる施設の方や共に学ぶ仲間と協力や連携を図っていきたいと思います。

認 定

▼固定資産評価審査委員会委員の選任（再任）

（敬称略）
武岡和幸（湯地）
任期 令和2年10月1日から令和5年9月30日まで

▼教育委員会委員の任命（再任）

（敬称略）

井上博幸（杵臼）

任期 令和2年11月22日から令和6年11月21日まで

新たに立地・創業や事業拡大を行う企業の支援拡充のため、現行の条例を全部改正するものです。

▼栗山町企業立地促進条例

名称 情報システム仮想サーバー式

予定価格 3740万円

業者 株式会社つうけんアドバ

ンシステムズ

変更 組合の事務所位置の変更に係る規約の変更です。

▼道央廃棄物処理組合規約の一部変更

各会計の決算計算数について

以上9件は、決算審査特別委員会を経て、本会議で認定されました。なお、監査委員から次の意見が付されました。

各会計の決算計算数について

は、歳入歳出とも電子帳票およ

び証書類との照合検査、公有財

産、物品、債権および基金につ

いても関係帳簿と照合した結

意 見 書

報 告

▼新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書

造血細胞移植に関する骨髄等提供者（ドナー）に対する助成制度の創設を求める意見書